

# 野生鳥獣を寄せつけないために

農業商工課 ☎ 0558-76-8003

野生鳥獣による全国の農作物被害額は、令和2年度は161億円と高い水準になっており、伊豆の国市も例外ではありません。  
鳥獣に合わせた適切な対策を、できるところから一緒に始めましょう！

## 鳥獣対策

### 3つの基本

鳥獣を寄せつけない環境づくりが対策の基本です。山中での捕獲を効率的に行うためにも、餌場・休息場を減らし、鳥獣が住みにくい環境を目指しましょう。

#### ①近づけさせない！

田畑近くの藪や荒れた農地は格好の隠れ場です。草刈りなどで見通しをよくし、隠れる場所を減らしましょう。



#### ②餌場を作らない！

農作物以外にも意外なものも餌になります。街中を餌場と認識させないために手入れを行いましょう。



#### 「こんな場所ありませんか？」

- ◇ 収穫しないままの果実 (柿・栗・みかんなど)
- ◇ 空き家や荒れた家屋
- ◇ 田畑に捨てられた野菜くずや生ごみ
- ◇ 未収穫の野菜や耕作放棄地



#### ③囲いで守る！

ネット柵・電気柵・金属フェンスなど、鳥獣に合わせた効果の高い設置を心がけましょう。また、定期的なメンテナンスを行い、鳥獣に「入れない田畑」として認識させましょう。



#### 「こんな囲いになっていませんか？」

- ◇ 所々穴が開いている・下から潜れる防獣ネット
- ◇ 雑草が接する・コンクリート上に設置する通電しない電気柵
- ◇ 人気のない昼間に電気を切っている電気柵
- ◇ 囲いの外側にある電柱やポールなどの登りやすい足場



音・光・テープ・臭い・有刺鉄線などでの追い払いは効果が持続しません！  
また、通電していない電気柵を越えて侵入した場合は、餌場として認識し、繰り返し訪れます。設置が済んだら昼間から常に電源を入れておきましょう。

## 鳥獣ごとの特性と対策

鳥獣の特性を見分けて効果的な対策を行いましょう。

### ○イノシシ



#### 【特性】

▼ 雑食で農作物全般を食べ、イモ類・球根・栗などを好み、ミミズなども食べます。

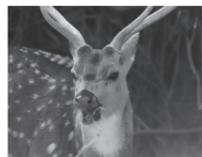
- ▼ 記憶力が良く、侵入に成功した仲間を真似することができます。
- ▼ 20cmの隙間をくぐることができ、70kgの石を鼻で押し上げます。
- ▼ 体毛は剛毛で鼻以外は電気が通りにくくなっています。



#### 【対策】

- ▼ 電気柵またはメッシュ柵が有効です。
- ▼ 電気柵の場合、草刈りを定期的に行い、通電性のない地面に設置しないようにしましょう。
- ▼ イノシシは障害物を鼻で探索するため、鼻の高さである地面から20cm

### ○ニホンジカ



#### 【特性】

▼ ほとんどの植物を食べる草食動物で、樹の葉や緑草を好みます。

▼ 1・6m以上の高さを超えられますが、基本的にはまず潜れる場所を探します。

#### 【対策】

- ▼ 電気柵などの防護柵(高さ2m以上)が有効です。
- ▼ 電気柵の場合は6〜7段張りで2mの高さを保ち、下3段は20cm間隔で潜り込みを防ぎましょう。



▲有効な電気柵(シカ)



### ○アナグマ

#### 【特性】

▼ 雑食でミミズや落ちた木の実、スイカ・ウリ類・トウモロコシなど野菜や穀類も食

### ○ハクビシン



#### 【特性】

▼ 雑食ですが、中でもイチゴ・ブドウなどの甘い果実を好みます。

#### 【対策】

- ▼ 電柱やポールを登り、電線などのワイヤーも渡ることができ、
- ▼ 8cmの隙間も頭が入れば侵入可能です。
- ▼ 天井裏に住み着くことがあるため、空き家の管理などが必要です。
- ▼ 隙間に侵入でき、ジャンプも可能なため、メッシュ柵や通常の電気柵は効果がありません。防獣ネットやネット型電気柵が有効です。
- ▼ 登りやすいものが周辺にないか、囲い方に注意しましょう。



▲防獣ネット

集落での餌場・休息場がなくなることで、山中に設置した捕獲器の餌に野生鳥獣が集まります。簡単に餌を食べられる田畑があると野生鳥獣の捕獲は難しくなります。

自分の田畑を自分で守ることは、被害を防ぐだけでなく、効果的な捕獲にもつながります。

